

昨年11月「河川浄化チャレンジ月間」実施結果 家庭の取り組みで芦田川がきれいに 芦田川環境マネジメントセンター(AEMC)



▲調査員が川の中に入り、水質の変化を調べました

表1「河川浄化チャレンジ月間」5つの取り組み

- ①排水口にネットをかけて、調理くずや食べ残しを流さない。
- ②汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う。
- ③食用油は直接流さず、紙にしみこませたり、固めたりしてごみとして出す。
- ④食器類を洗う時に、洗剤の使用量を減らす。
- ⑤洗濯の時に、洗剤の適量使用を心がける。

表2 参加者からの意見(一部抜粋)

- ◆だんだん楽しくなって、続けられて良かったです。
- ◆1家族だけだと、ほんの小さな取り組みかもしれないけれど、少しずつでも、水質浄化の取り組みが広がっていけば、きれいな河川が取り戻せるのではないかと思います。
- ◆家族と取り組むことによって、自分の環境への考え方が変化したことを実感しました。今回、1カ月取り組みただけでは芦田川の水はきれいにならないと考えるので、この経験を生かし続けていきたいです。
- ◆たくさんの人がこの取り組みをして、少しは川がきれいになったのではないかなと思ったので、これからも続けて、川をきれいにできるようにしたいです。
- ◆住みよい環境づくりは、身近なことから始められる心がけを忘れずに、親子とも、これからも続けて取り組んでいくことができそうです。
- ◆河川浄化チャレンジ月間をすることで、環境がどう変わっていくのかを見てみたいと思いました。福山に住んでいるので、芦田川がきれいだとうれしい。

国土交通省、福山市、間とし、「芦田川きれいな環境保護団体代表、マスコミなど、官民一体となって芦田川の水質浄化・啓発活動を行っている「芦田川環境マネジメントセンター」(通称AEMC、会長＝田中宏行さん)。同センターでは平成19年から、毎年11月を「河川浄化チャレンジ月

間」とし、「芦田川きれいな環境保護団体代表、マスコミなど、官民一体となって芦田川の水質浄化・啓発活動を行っている「芦田川環境マネジメントセンター」(通称AEMC、会長＝田中宏行さん)。同センターでは平成19年から、毎年11月を「河川浄化チャレンジ月

間」とし、「芦田川きれいな環境保護団体代表、マスコミなど、官民一体となって芦田川の水質浄化・啓発活動を行っている「芦田川環境マネジメントセンター」(通称AEMC、会長＝田中宏行さん)。同センターでは平成19年から、毎年11月を「河川浄化チャレンジ月

間」とし、「芦田川きれいな環境保護団体代表、マスコミなど、官民一体となって芦田川の水質浄化・啓発活動を行っている「芦田川環境マネジメントセンター」(通称AEMC、会長＝田中宏行さん)。同センターでは平成19年から、毎年11月を「河川浄化チャレンジ月

間」とし、「芦田川きれいな環境保護団体代表、マスコミなど、官民一体となって芦田川の水質浄化・啓発活動を行っている「芦田川環境マネジメントセンター」(通称AEMC、会長＝田中宏行さん)。同センターでは平成19年から、毎年11月を「河川浄化チャレンジ月

間」とし、「芦田川きれいな環境保護団体代表、マスコミなど、官民一体となって芦田川の水質浄化・啓発活動を行っている「芦田川環境マネジメントセンター」(通称AEMC、会長＝田中宏行さん)。同センターでは平成19年から、毎年11月を「河川浄化チャレンジ月

間」とし、「芦田川きれいな環境保護団体代表、マスコミなど、官民一体となって芦田川の水質浄化・啓発活動を行っている「芦田川環境マネジメントセンター」(通称AEMC、会長＝田中宏行さん)。同センターでは平成19年から、毎年11月を「河川浄化チャレンジ月

間」とし、「芦田川きれいな環境保護団体代表、マスコミなど、官民一体となって芦田川の水質浄化・啓発活動を行っている「芦田川環境マネジメントセンター」(通称AEMC、会長＝田中宏行さん)。同センターでは平成19年から、毎年11月を「河川浄化チャレンジ月



ホームページはこの
二次元コードから